

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法評価学Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期	前期	教室名	5F機能訓練室
担 当 教 員	川原田 進				
実務経験と その関連資格	鍼灸師・トレーナーとしてクリニックで勤務(8年)。その後、理学療法士として晴風園今井病院に勤務し、医療・療養型病棟(1年)、回復期リハビリテーション病棟(6年)に従事する。整形外科疾患や脳血管疾患を中心に数多くの症例のリハビリテーションを経験した。3学会呼吸療法認定士・福祉住環境コーディネーター2級所持。 また大学院では運動生理学教室に所属し運動パフォーマンスと疲労について研究を進め学会でも発表している。健康学修士。				
《授業科目における学習内容》					
各検査項目を提示し模倣を行ってもらい、手順の理解、評価の妥当性、測定結果を記録することが出来るように実技中心に実施する。					
《成績評価の方法と基準》					
参加度:10% 小テスト:10% 筆記試験:40% 実技試験:40%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「理学療法評価学 改訂第6版」 金原出版 「新・徒手筋力検査法 第10版」 協同医書出版社					
《授業外における学習方法》					
形態測定・関節可動域訓練・徒手筋力テストとともに実技形式での練習が必須となります。授業外でも実技練習を行ってください。					
《履修に当たっての留意点》					
評価学は理学療法士にとって基礎を作る授業となります。練習しないと上達しないので積極的に動いてください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	理学療法評価の流れイメージできる	「理学療法評価学 改訂第6版」 金原出版	検査器具の名称を確認	
	各コマにおける授業予定	評価学総論, 形態測定総論			
第2回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」 金原出版	評価項目のランドマークを確認	
	各コマにおける授業予定	形態測定(下肢長, 上肢長)			
第3回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」 金原出版		
	各コマにおける授業予定	形態測定(周径), 関節可動域総論			
第4回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」 金原出版	方法の確認	
	各コマにおける授業予定	ROM測定 肩甲帯(屈曲-伸展, 挙上-引き下げ), 肩関節(屈曲-伸展)			
第5回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」 金原出版	方法の確認	
	各コマにおける授業予定	ROM測定 肩関節(内転-外転, 外旋-内旋, 水平屈曲-水平伸展)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 肘関節(屈曲-伸展), 前腕(回内-回外)		
第 7 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 手関節(掌屈-背屈, 尺屈-橈屈), 母指・手指		
第 8 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 股関節(屈曲-伸展, 外転-内転, 外旋-内旋)		
第 9 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 膝関節(屈曲-伸展), 足関節(底屈-背屈)		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 足部(外がえし-内がえし, 外転-内転)		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 母趾(屈曲-伸展) 足趾(屈曲-伸展)		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 頸部(屈曲-伸展, 回旋, 側屈)		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	実測することができる	「理学療法評価学 改訂第6版」金原 出版	方法の確認
	各コマにおける授業予定	ROM測定 胸腰部(屈曲-伸展, 回旋, 側屈)		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	MMTの概念を知る MMTの段階付けを説明できる	「新・徒手筋力検査 法 第10版」協同医 書出版社	関節可動域の小テスト勉強
	各コマにおける授業予定	徒手筋力検査(MMT)総論		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査 法 第10版」協同医 書出版社	筋の起始・停止確認
	各コマにおける授業予定	MMT 肩甲帯周囲, 肩関節(屈曲-伸展, 内転-外転)		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法評価学Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期	前期	教室名	5F機能訓練室
担 当 教 員	川原田 進				
実務経験と その関連資格	鍼灸師・トレーナーとしてクリニックで勤務(8年)。その後、理学療法士として晴風園今井病院に勤務し、医療・療養型病棟(1年)、回復期リハビリテーション病棟(6年)に従事する。整形外科疾患や脳血管疾患を中心に数多くの症例のリハビリテーションを経験した。3学会呼吸療法認定士・福祉住環境コーディネーター2級所持。 また大学院では運動生理学教室に所属し運動パフォーマンスと疲労について研究を進め学会でも発表している。 健康学修士。				
《授業科目における学習内容》					
各検査項目を提示し模倣を行ってもらい、手順の理解、評価の妥当性、測定結果を記録することが出来るように実技中心に実施する。					
《成績評価の方法と基準》					
参加度:10% 小テスト:10% 筆記試験:40% 実技試験:40%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「理学療法評価学 改訂第6版」 金原出版 「新・徒手筋力検査法 第10版」 協同医書出版社					
《授業外における学習方法》					
形態測定・関節可動域訓練・徒手筋力テストとともに実技形式での練習が必須となります。授業外でも実技練習を行ってください。					
《履修に当たっての留意点》					
評価学は理学療法士にとって基礎を作る授業となります。練習しないと上達しないので積極的に動いてください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医書出版社	筋の起始・停止確認	
	各コマにおける授業予定	MMT 肩関節(外旋-内旋, 水平屈曲-水平伸展)肘関節(屈曲-伸展)			
第17回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医書出版社	筋の起始・停止確認	
	各コマにおける授業予定	MMT 前腕(回外-回内)手関節(掌屈-背屈, 橈屈-尺屈)			
第18回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医書出版社	筋の起始・停止確認	
	各コマにおける授業予定	MMT 手指①			
第19回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医書出版社	筋の起始・停止確認	
	各コマにおける授業予定	MMT 手指②			
第20回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医書出版社	筋の起始・停止確認	
	各コマにおける授業予定	MMT 股関節(屈曲-伸展, 外転-内転)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	筋の起始・停止確認
	各コマにおける授業予定	MMT 股関節(外旋-内旋), 膝関節(屈曲-伸展)		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	筋の起始・停止確認
	各コマにおける授業予定	MMT 足関節(底屈-背屈, 内反-外反)		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	筋の起始・停止確認
	各コマにおける授業予定	MMT 母趾(屈曲-伸展), 足趾(屈曲-伸展)		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標	MMTの段階付けができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	筋の起始・停止確認
	各コマにおける授業予定	MMT 頸部(屈曲-伸展)体幹(屈曲-伸展, 回旋)骨盤引き上げ		
第 2 5 回	授業を通じての到達目標	整形外科の病態を把握することができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	各疾患の理解
	各コマにおける授業予定	整形外科疾患検査①		
第 2 6 回	授業を通じての到達目標	整形外科の病態を把握することができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	各疾患の理解
	各コマにおける授業予定	整形外科疾患検査②		
第 2 7 回	授業を通じての到達目標	整形外科の病態を把握することができる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	各疾患の理解
	各コマにおける授業予定	整形外科疾患検査③		
第 2 8 回	授業を通じての到達目標	痛みをスケールとして主観的に評価できる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	病理学・機能障害学復習
	各コマにおける授業予定	痛みの評価		
第 2 9 回	授業を通じての到達目標	痛みをスケールとして主観的に評価できる	「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	病理学・機能障害学復習
	各コマにおける授業予定	痛みの評価		
第 3 0 回	授業を通じての到達目標		「新・徒手筋力検査法 第10版」協同医学出版社	
	各コマにおける授業予定	総復習, まとめ		